平成21年6月30日

愛知県常滑市鯉江本町5丁目1番地 株式会社INAXCOM 取締役社長 田阪 裕一

# 貸借対照表

\_平成21年3月31日現在 (単位:千円)

科目	金 額	科目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,956,342	流動負債	1,870,531
普通預金	7,946	買掛金	1,671,829
売掛金	76,944	未払金	196,911
未収入金	524,123	未払法人税等	180
未収還付法人税	3	未払費用	1,610
未収還付消費税	3,485		
商品	1,095,582		
立替金	300,312		
短期前払費用	479		
繰延税金資産	60,921		
貸倒引当金	113,457		
固定資産	2,725	負債合計	1,870,531
投資その他の資産	2,725	(純資産の部)	
差入保証金	1,160	株主資本	88,536
繰延税金資産	1,565	資本金	90,000
		利益剰余金	1,463
		その他利益剰余金	1,463
		繰越利益剰余金	1,463
		(当期純利益)	(30,564)
		純資産合計	88,536
資産合計	1,959,067	負債·純資産合計	1,959,067

#### (注)

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# . 重要な会計方針に係る事項

# 1. 資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

# 2. 固定資産の減価償却方法

## リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする 定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が「リーース取引に関する会計基準」(企業会計基準 第13号(平成5年6月17日)(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))の適用初年度開始前の リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

### 3. 引当金の計上基準

### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に基づき、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。 尚、一般債権についてINAX基準に基づいて計上しております。

# 4.消費税の会計処理

税抜方式で行っております。

# 5.会社の会計方針の変更

# 棚卸資産の評価に関する会計基準

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当事業年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

尚、これによる損益に与える影響はありません。

# リース取引に関する会計基準

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。尚、これによる損益に与える影響はありません。

有形固定資産の耐用年数の変更

法人税法の改正に伴い、機械装置の耐用年数の見直しを行った結果、当事業年度より改正後の法人税法に基づく耐用年数に変更いたしました。

尚、これによる損益に与える影響はありません。